

## 2023 年度前期 課目案内(\*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*公開講座「宣教学:日本のキリスト教会の現状とこれから」	4	共通選択	松谷信司(キリスト新聞社)/上中栄(ホーリネス)/濱野道雄(西南学院)
月	教会史Ⅲ	4	共通選択	坂本誠
火	旧約聖書概論	4	共通選択	日高嘉彦
火	賛美歌学	4	共通選択	江原美歌子
木	*公開講座「新約釈義:マルコによる福音書を読む」	4	共通選択	森淳一(高崎教会)
木	ギリシャ語を学ぼうⅠ:初級編	4	専攻科必修	城倉啓
金	*公開講座「新しい聖書の学び:イエス時代と最初期クリスチャン時代の背景を学んで聖書を読む」	4	共通選択	山口里子
金	教会形成論	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	教会音楽教育	4	音楽本科必修	岸本敬子 / 小松澤恵
土	ソルフェージュ	4	音楽本科必修	十時節子
土	指揮法Ⅲ	4	音楽専攻科必修	山中臨在
	教会実習	6	専攻科必修	内藤淳一郎
夏期講座	*「LGBT とジェンダー問題とキリスト教:性の多様性とキリスト教」	2	8月10~11日	平良愛香(農村伝道神学校校長)

## 2023 年度後期 課目案内(\*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(予定)
月	*公開講座「キリスト教倫理」	4	共通選択	未定
月	新約聖書概論	4	共通選択	坂元俊郎
火	*公開講座「宗教学」	4	共通選択	石田学(日本ナザレン教団)
火	組織神学Ⅰ	4	共通選択	朴思郁
木	ギリシャ語を学ぼうⅡ:使徒言行録を読む	4	専攻科必修	城倉啓
木	礼拝学Ⅰ	4	共通選択	藤井秀一
金	*公開講座「旧約釈義:エゼキエル書を読む」	4	共通選択	日高嘉彦
金	牧会学	4	専攻科必修	友納靖史 / 松村誠一
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	礼拝音楽	4	音楽本科必修	菊地るみ子
土	作曲・編曲	4	音楽専攻科必修	十時節子
	卒業論文	6	専攻科必修	内藤淳一郎
冬期講座	*「LGBT とジェンダー問題とキリスト教:性の多様性を知って浮かび上がるジェンダー問題」	2	12月26~27日	平良愛香(農村伝道神学校校長)

☛ 「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。

☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp 🔍 検索

☛ 2023 年度前期開講方針は神学校ホームページ(<https://tbts.jp/>)をご覧ください。

## 2023 年度前期 東京バプテスト神学校受講案内

本 科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。  
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)  
\* 願書に必要な事項を記入の上、3月10日(金)までに郵送してください。  
\* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。  
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)  
\* 専攻科入学希望者には、教会総会の推薦を必要とします。  
\* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

【入学面接】 3月24日(金)午後5時  
\* 入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)  
\* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】  
4月7日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会

【学 期】 ・前期 4月10日(月)~7月31日(金、補講:9月1日~9月8日)  
<夏期休講 8月1日(火)~8月31日(木)>  
・後期 10月10日(火)~2024年2月29日(木)  
<冬期休講 12月18日(月)~2024年1月5日(金)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分  
\* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分

【入学金】 ・本科・専攻科 100,000円  
・信徒リーダー養成コース 50,000円  
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000円

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円  
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円  
・専攻科 年間200,000円

【設備費】 一律10,000円(年間)

【通信受講】 通信受講の場合、1課目5,000円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。  
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。  
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。  
・卒業生、牧師、後援会会員は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。

## 2023 年度前期 講義シラバス（＊公開講座）

### ＊公開講座「宣教学：日本のキリスト教会の現状とこれから」

●第1回～第5回  
「教会はもはや限界集落」「牧師も神父もなり手がいない」「 ”敬虔なクリスチャン、など絶滅危惧種”——そんな声がかさやかれる現代ニッポンの教会事情。目を背けたくなる現実を前に、私たちはともすると「愛」と「奉仕」と「献身」を口実に思考停止に陥りがちです。本講義では正しい現状認識と危機意識の共有から始め、既存の教会が直面する制度疲労と現実との乖離に向き合い、具体的な事例をもとに改善策を考えます。キーワードは「開かれた教会」と「ハタからの視点」。コロナ禍で一変した社会状況の中で、地域社会に必要とされる存在となるために、私たちには何が必要か。少し視点を変えるだけで可能性は大きく広がるはずです。これまでの発想を転換し、持続可能な教会様式を模索するためのヒントが見出せることを願っています。

・テキスト：八木谷涼子『もっと教会を行きやすくする本』キリスト新聞社 / ・参考書：松谷信司『宗教改革2.0へ』ころから

### ●第6回～第10回

人は「現在」の危機に直面した時、「未来」に向かって進みだすために、「過去」を振り返る、と言います。本講座では、「日本のキリスト教会の現状とこれから」を考えるにあたり、ホーリネスの視点から歴史を振り返ります。ホーリネスは、日本のキリスト教界では主流ではありませんが、ホーリネス史を軸に日本のキリスト教史をながめてみると、また違った景色が見えて来ると思います。特に戦前の教会が翻弄された諸問題、戦時下の治安維持法違反に問われたホーリネス弾圧などからは、日本社会の特性や日本の教会のウィークポイントなど、今日の私たちにも通じる課題が浮かび上がってきます。私たちは何を継承し、何を克服しなければならないのか、共に考えてみたいと思います。

### ●第11回～第15回

コロナにより加速され、日本の教会も北半球の教会同様、大きな曲がり角にいます。まず日本バプテスト連盟内外の教勢分析を通し量的質的变化の要因を考えます。そして信仰はあっても教会を離れる時代に教会が変わるならどう変わるか、またアメリカのいくつかの教会論の変遷から今求められる教会論を考え、牧師以外の「信徒の教会」をいかに形成できるか考え、最後に実際に何を行うのかディスカッションをします。
・テキスト：特にありません。 / ・参考書：(濱野担当回)適宜紹介します。

### 「教会史Ⅲ」

本講義においては、日本におけるキリスト教史の流れを理解し、把握することを目標とします。教科書は、鈴木典久著『日本キリスト教史 年表で読む』(教文館、4,968円)使用します。各自購入して授業に望んでください。参考書は表の下に記します。評価は出席、ビデオ講義の方には各講義レポートを予定しておりますが、各時間、教科書を要約し、順次発表していただきます。ビデオ受講の方は発表原稿を送付していただき、代読という形で発表させていただきます。それにより評価をしていきます。担当者の発表終了後、坂本が補足講義を致します。尚、授業内容は、授業の進み方等で若干変更する場合があります。発表の順番は一応作成したものです。授業内にて相談させていただきます。

### 「旧約聖書概論」

旧約聖書(ヘブライ語聖書)は、バビロン捕囚をきっかけに生まれました。それはイスラエルの神ヤハウェへがバビロンの神の前に完敗するという出来事を意味しました。不滅と信じられていたヤハウェ神殿とダビデ王朝の消滅、そして「祭司の民」が「約束の地」から追放されるに及び、積み上げてきた信仰の営みは根底から覆され、ヤハウェ宗教(古代ユダヤ教)は終りを迎えます。しかし捕囚となった民は、ヤハウェが新たな聖所と聖地を準備していたことを知ります。それが旧約聖書です。彼らがどこにしようと、そこはヤハウェと出会う聖所であり、その言に生きるところが「約束の地」となるのです。ヤハウェは、聖書というあり方でイスラエルと新たに出会い、彼らの信仰を復活させたのです。本講では、定められたテキストにもとづき、各書の歴史的背景と中心的なメッセージを確認します。

・テキスト：浅見定雄『改訂新版 旧約聖書につよくなる本』日本基督教団出版局、2012年。

・参考書：C.ヴェスターマン『改訂新版 聖書の基礎知識 旧約編』日本基督教団出版局、2013年。

### 「賛美歌学」

賛美歌を聖書、神学、文学、音楽、歴史的視点、賛美歌の機能から総合的に学ぶ。・会衆賛美の重要性を学び、礼拝における賛美歌の用い方、導入方法等、諸教会の状況に即した方法を考えていく。・日本バプテスト連盟発行「新生讃美歌」の歴史と特徴を学び、礼拝、諸集会での礼拝と賛美歌の選曲を考える。・現代の賛美歌の動向を学び、今求められている賛美歌の詞(宣教課題)について考える。賛美歌を様々な角度からアプローチし、集中して学ぶよい機会です。特に賛美歌選曲には重きをおいていますので、教会での礼拝、諸集会で実践・応用することができます。礼拝に参与する会衆、そして礼拝を整える働きに従事されるかた全てにお勧めするコースです。

・テキスト：『新版 賛美歌 その歴史と背景』原恵、横坂康彦著（日本キリスト教団出版局）

・参考書：『新生讃美歌ブックレット』(日本バプテスト連盟)、『讃美歌21』(日本キリスト教団出版局)

### ＊公開講座「新約釈義：マルコによる福音書を読む」

この講座は「公開講座」ですので、神学校に在籍されている方々はもちろんのこと、それぞれの学びのために信徒の皆さんにも、ぜひ受講していただければと願っています。普段、それぞれの教会で、教会学校の学びに参加しておられる皆さんのことをイメージしながら授業の備えをしています。講座の内容としては、入門的な要素を意識して、聖書箇所を細かく注解的に学んでいくのではなく、信徒の皆さんが少しでも親しみやすくマルコによる福音書を読んでいくことができるように授業を行っていきたいと思います。この講座を通して、各人がマルコによる福音書から黙想をして、自分へのメッセージを受けていくこと、また、お互いが受けたメッセージを聴き合いながら、学びを深めていきたいと思います。また、神学校に在籍の皆さんにとっても、マルコによる福音書から何を神の言葉として聴き取るのか？ み言葉の取り次ぎのための学びの一つになれば幸いです。ご一緒に、マルコによる福音書を読んでいきましょう。
・テキスト：『新共同訳聖書』 / ・参考書：『聖書教育』2018年1・2・3月号 『聖書教育』2022年1・2・3月号 『聖書教育』2022年4・5・6月号

### 「ギリシャ語を学ぼうⅠ：初級編」

ギリシャ語は新約聖書の原語です。本講義では、新約聖書で用いられているギリシャ語文法の基礎を学びます。ギリシャ語は、インド・ヨーロッパ語族の一つです。英語の知識は役に立ちます。アルファベットもなじみのあるものですし、読み方もローマ字読みです。ただし、日本語話者にとって厄介なことは多々あります。名詞や動詞の活用がその最たるところです。しかし日本語話者にとって有利なところもあります。語順が比較的自由なところ です。語順に縛られる英語と、この点でギリシャ語は異なります。似ているところと異なるところを楽しみながら学んでいきましょう。聖書に何が書いてあるのかをたずねるために。

・テキスト：大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』岩波書店(初版2004年) / ・参考書：岩隈直『増補改訂ギリシャ語辞典』山本書店(増補初版)

### ＊公開講座「新しい聖書の学び」

聖書のお話を読む時、そこに登場する人々を、皆さんはどのように想像するでしょう？ 紀元1世紀、人々はどのような世界に生き、どのような家に住み、どのような仕事をして、どのような物を食べて生活していたでしょうか？考古学・人類学などの情報を活用する新しい聖書学の成果を用いて、人口の90%以上の貧しい庶民たちに「歴史的想像力」を広げて、そして特に見えなくされた女性たちにも注意を向けて学ぶと、聖書の話が新しい印象で迫ってきます。この講座では、そういう聖書の背景世界を学んで、最後にマルタとマリアの話を一例として読み直します。こういう新しい聖書の学びを、率直な質問・意見を分かち合いながら、一緒に楽しく学びましょう。
・テキスト：山口里子『マルタとマリア：イエスの世界の女性たち』(新教出版、2004年)

### 「教会形成論」

①礼拝、伝道、教育、牧会、奉仕という「教会の働き」(ミニストリー)について学ぶ。②会衆主義教会の信徒像、組織と運営、牧師の働き、執事の働きなどバプテスト教会の取り組みについて学ぶ。③「信仰告白」、「バプテスマと主の晩餐」、「按手(礼)」についての理解とバプテスト教会の課題を学ぶ。(以上①、②、③を15回の授業で取り上げる)
・テキスト：ウィリモン「牧師－その神学と実践」 / ・参考書：その都度、内藤が資料を提供する。

### ＊公開講座「合唱」

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさそしてその意義を、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。・テキスト：合唱楽譜を配布します。(200 円前後の楽譜代がかかります)

### 「教会音楽教育」

この教会音楽教育の授業は、かつての教会音楽教育ⅠとⅡを合わせた内容となります。こどもから少年少女、青年、成人と幅広い年代を対象とした教会音楽教育、指導法について学びます。子ども音楽、聖歌隊の使命と目的、霊的及び音楽的概念、指導者の在り方について。また、これから聖歌隊を組織する場合に必要な準備や、様々な状況の中での実際の練習方法について考察し、様々なメソードも研究します。・参考書：「キリスト者の礼拝」フランクリーセグラー著（キリスト新聞社）、「教会音楽ハンドブックⅠ」（日本バプテスト連盟）、「教会音楽ガイド」越川弘英、塚本潤一、水野隆一（日本キリスト教団出版局）

### 「ソルフェージュ」

音楽の基礎として、【楽典】【視唱】【リズム】【読譜】【聴音】など実習を通して学んでいきます。特に読譜に必要な音楽知識は一から学んでいきますので、教会音楽科の学生だけでなく賛美歌をリードするため神学科や教会教育科の学生にも是非受講をお薦めいたします。豊かな賛美を捧げるためにも音楽の基礎を学び、教会音楽の実践として活用できるように音楽力を身につけていきます。指揮法を学ぶためにはこの課目受講が必須となります。

・テキスト：『楽典がすいすい学べる本』 土田京子 ヤマハ出版/『新生讃美歌』日本バプテスト連盟

・参考書：『総合ソルフェージュ1』鈴木憲夫 カワイ出版/『おとなのための楽典ワーク』ドレミ出版

### 「指揮法Ⅲ」

基礎的な指揮法の復讐と応用。少し難しい楽譜への対応。会衆賛美をリードする者としての指揮者の立場とその働き。上級聖歌隊曲の指揮と指導。オラトリオ作品の指揮。・テキスト：ドリルシート(受講生に配布します)